

大の  
中  
紙



未  
甘  
云  
甘  
紙

^ 13  
3667  
16



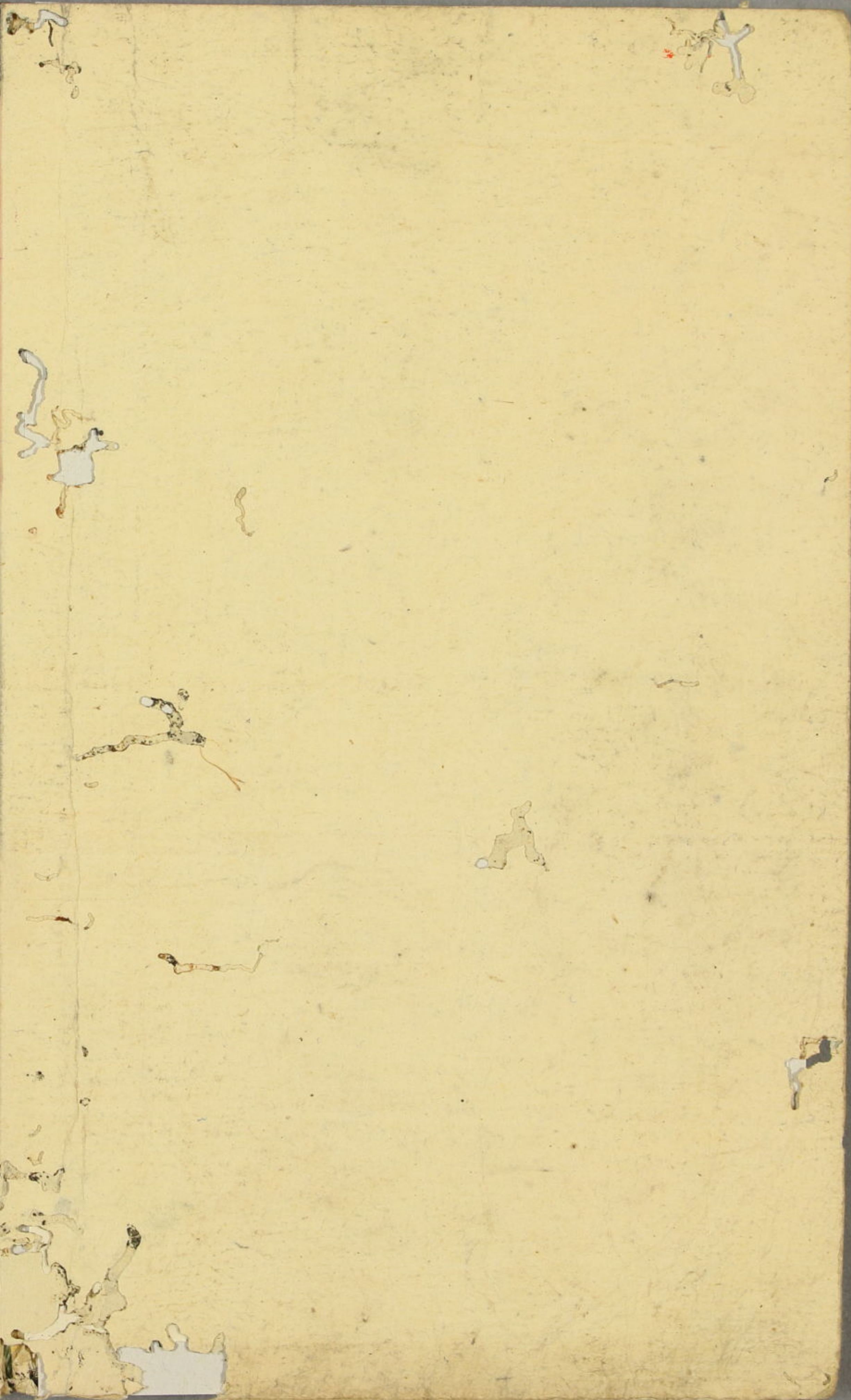


笠亭仙果録

廿五編上

升道曲五回画

萬吉反



門 12  
 號 3667  
 本 16

書梅芳禪  
 六之双象  
 叶五備上冊  
 然人果僊 金久五 芳吉板



機脚木偶と載る臺の  
 花鳥の  
 推し飾る  
 裡車とマヒ  
 糸の  
 けで蔽り外見の亦華麗なり小説神史の  
 奇異妖怪神佛の靈瑞なる全部の  
 脚色をうらうらと其譚話と景色と  
 事彼木偶の事と同一實に平々穩々  
 人情世態を以て怪が神と語らぬ及  
 るれと彼機關の手段をくつて筋窮迫て筆  
 動をのつとまるとは外の也これより此筆紙の上猫の  
 詩鏡小説と陸續く讀むの談と羨とを等と棄てて第一小面様から見て  
 理と七分て取合を猶更文段と久合ぬ兼知て作の拙を掩飾し画の外ふたのほ下冊船出下部と  
 投る画組とれるの皆批評者がかうするれを任憑せざるは覽ふは本藝ふとりのからと年

筵亭  
 仙果  
 謹言

一 福



犬塚  
信乃

豊後團扇

甲斐国  
横石村  
豊正  
餘綾  
木五作

犬山  
道節

止る所のたつたりの段のすのびのたのむかふまふ  
とふたつたりのたのむかふまふのたのむかふまふ  
八ふたつたりのたのむかふまふのたのむかふまふ  
たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ

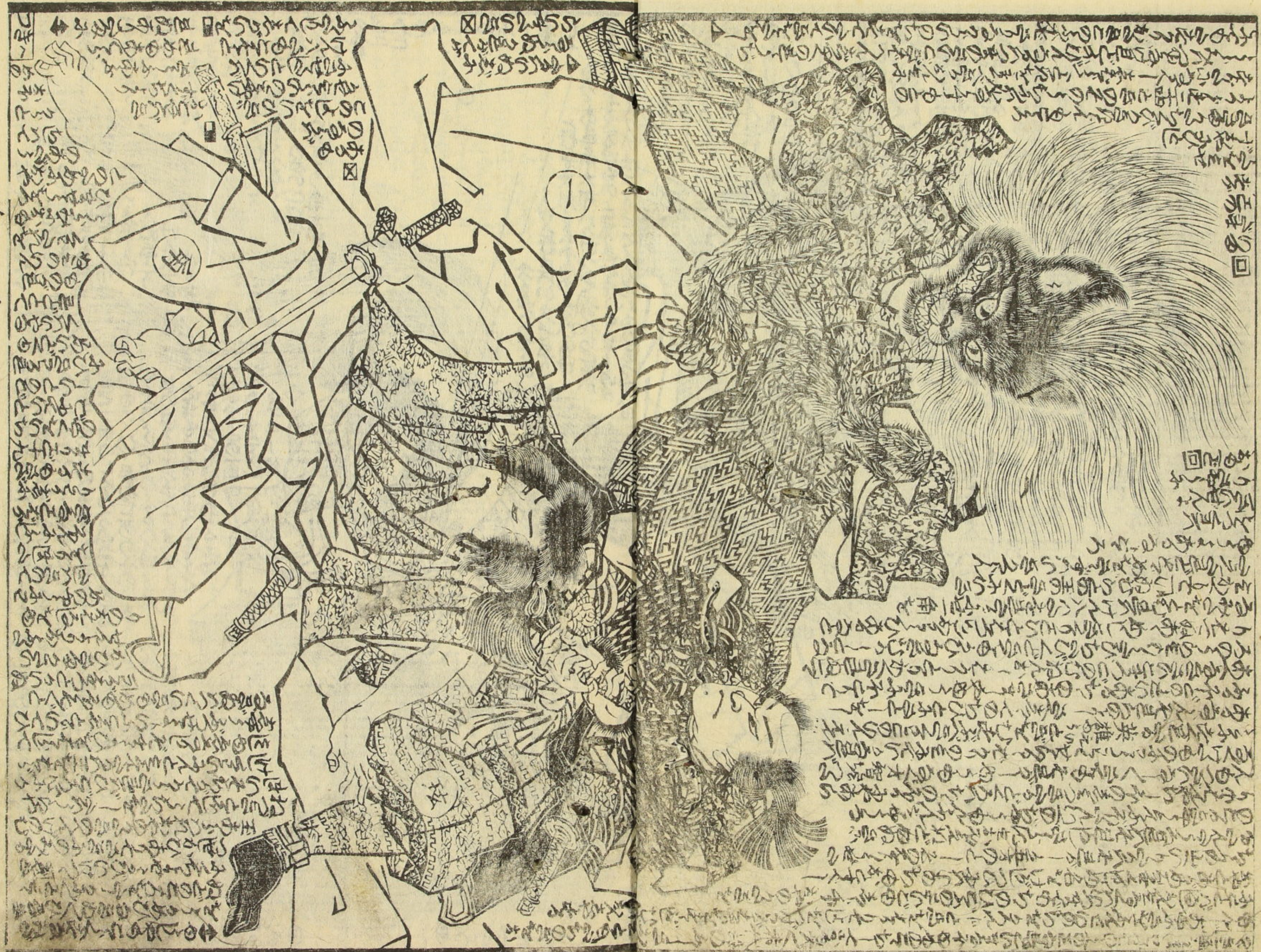


たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ  
たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ  
たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ



たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ  
たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ  
たのむかふまふのたのむかふまふのたのむかふまふ





Handwritten text on the left margin, possibly a page number or chapter indicator.

Handwritten text on the right margin, possibly a page number or chapter indicator.

Large handwritten characters on the far right margin, likely a chapter title or section header.

Small handwritten characters on the right margin, possibly a page number.



Left page text (top to bottom):  
[Annotations around the standing figure]  
[Annotations around the seated figure]  
Bottom text: 王の... けあ... りて... 王の... けあ... りて... 王の... けあ... りて...  
Right page text (top to bottom):  
[Annotations around the seated figure]  
Bottom text: 王の... けあ... りて... 王の... けあ... りて... 王の... けあ... りて...

二の十五

九の五





角

珍

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから



おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

たづねてみればおのづから

おのづからうしろをみれば

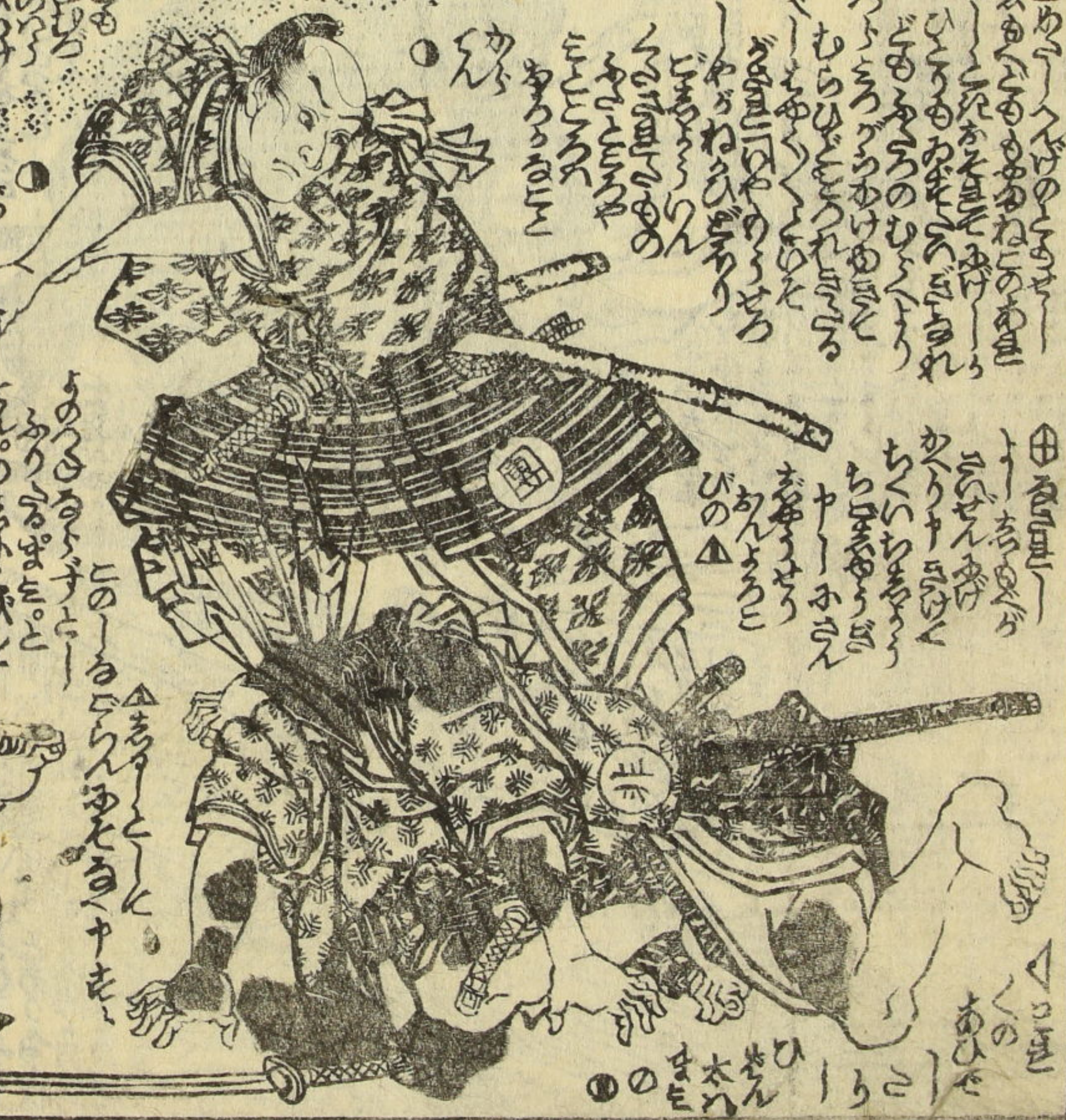
たづねてみればおのづから

角

珍

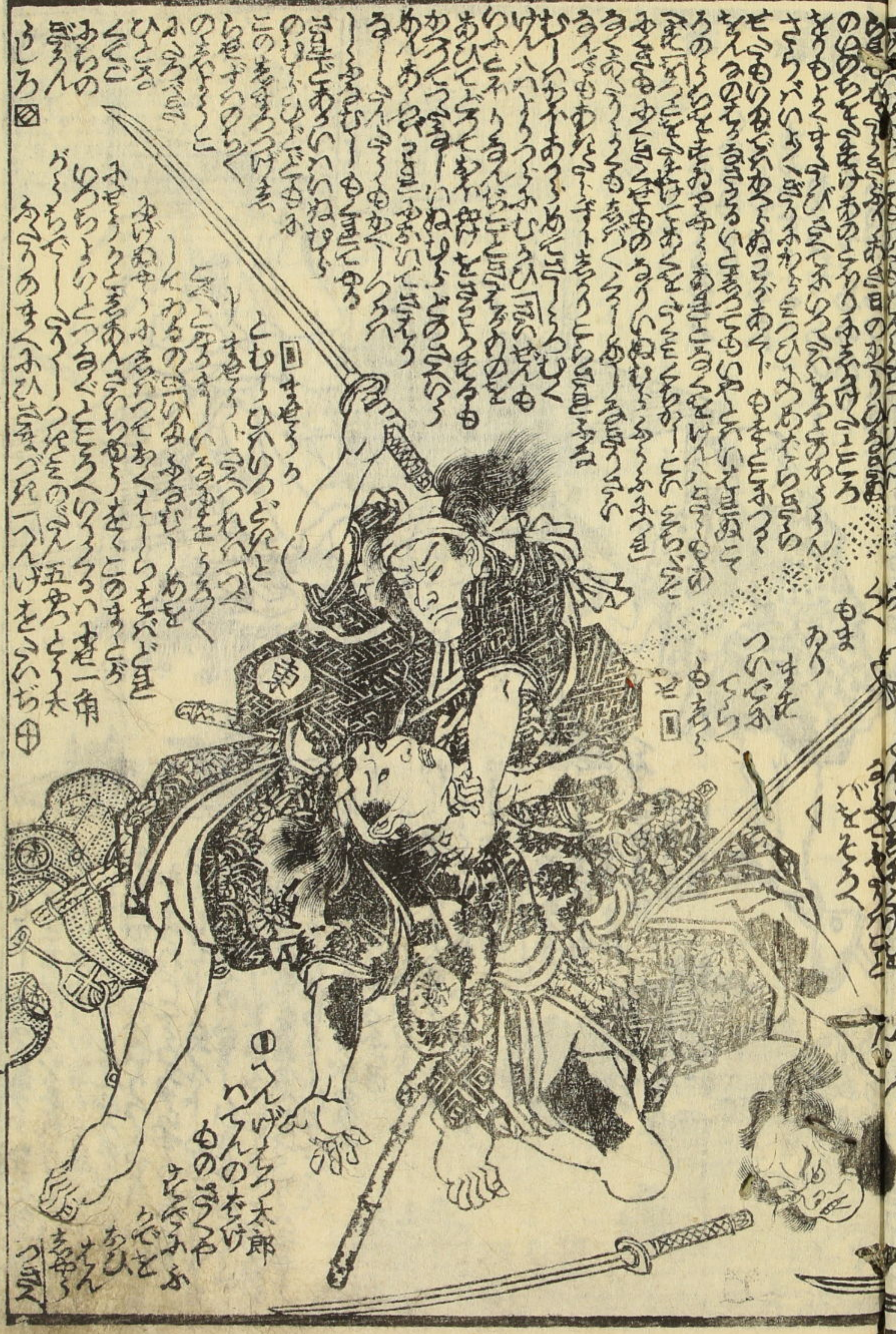


Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a scene description or dialogue.



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the woman's illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located below the woman's illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, surrounding the man's illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located below the man's illustration.



トのナ

カ

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の



カ

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の

△の



かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり

九の十五

かまきり  
かまきり  
かまきり

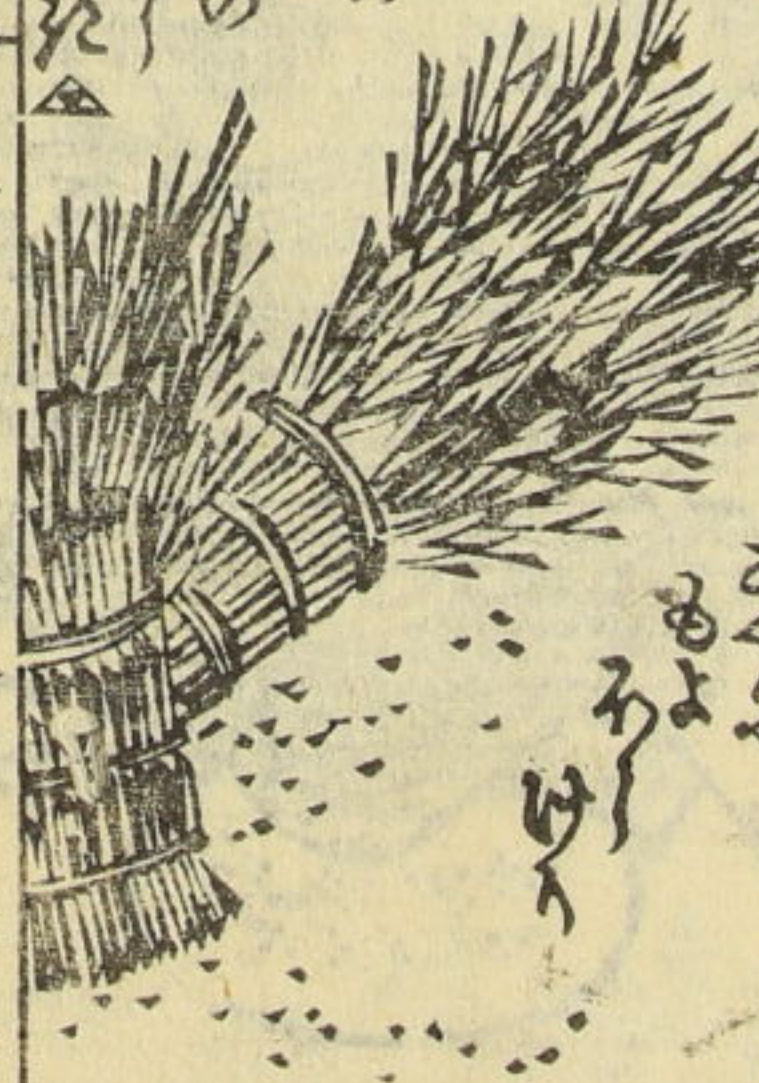
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり

かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり  
かまきり



角太郎の...  
 ...  
 ...  
 ...

小文吾...  
 ...  
 ...



### 國貞画仙果録

### 本家實母散

えんせんと  
 一切の妙也  
 御免痲積湯

中稿  
 南傳馬町二丁目東側

十葉堂孝輔製  
 信州上田東山堂製

### せんきののゆき

御用薬所 信州上田東山堂製



せんきののゆき  
 ...

一包  
 一匁  
 九四日

### 大日本國郡輿地全圖

大奉書  
 六枚綴

### 府郷御江戸繪圖

同新  
 六枚綴

せんきのの葉  
 取次所

繪草紙問屋

葛屋吉藏

江戸南傳馬町二丁目

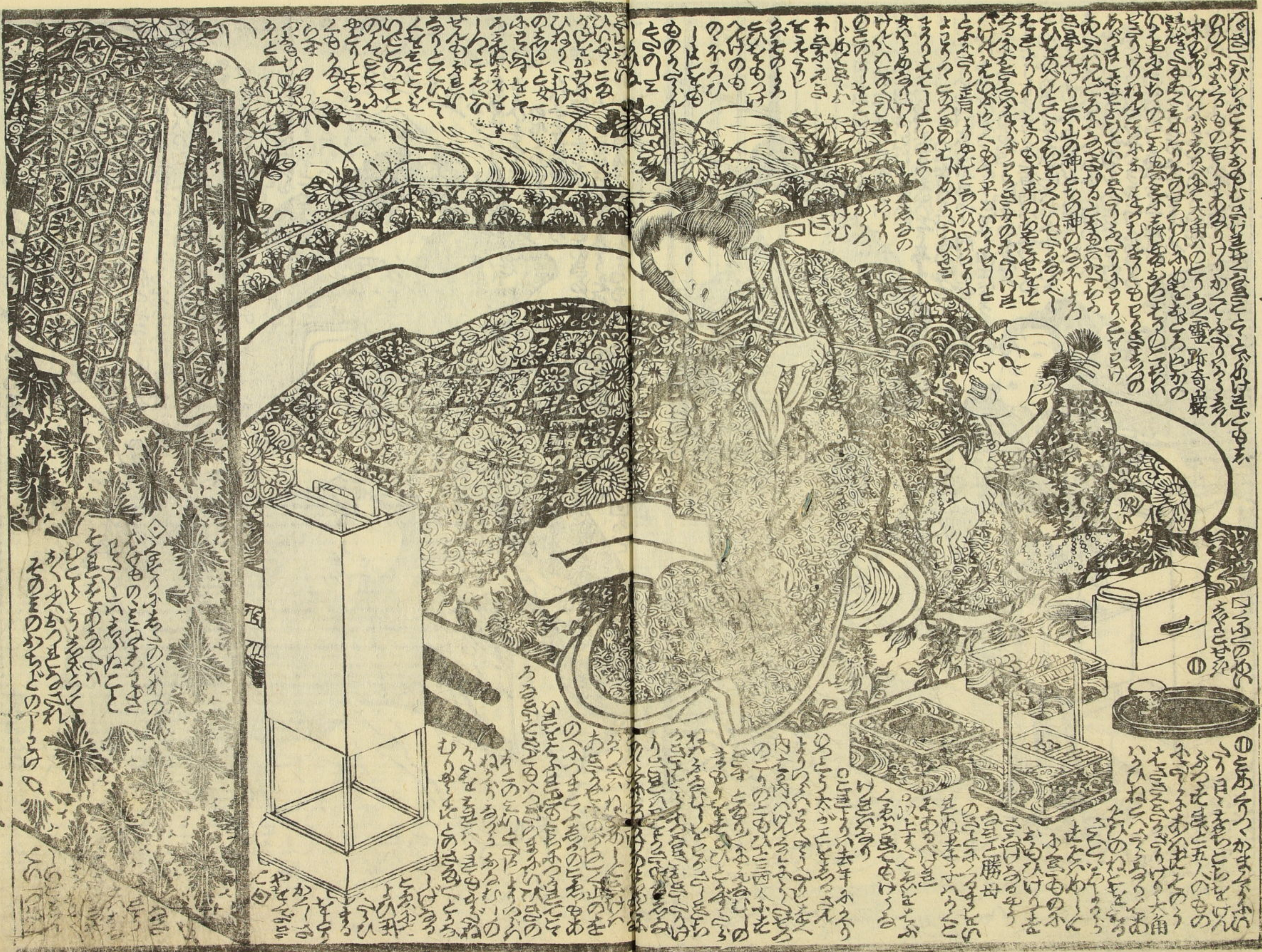
八犬傳の犬

梅咲樓國貞画

大五編下







Handwritten Japanese text block on the right side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the right side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the right side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the right side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the right side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the left side of the illustration.

Handwritten Japanese text block on the left side of the illustration.





Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of dialogue or stage directions, located at the top of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of dialogue or stage directions, located at the bottom of the page.

Vertical handwritten text on the left margin.

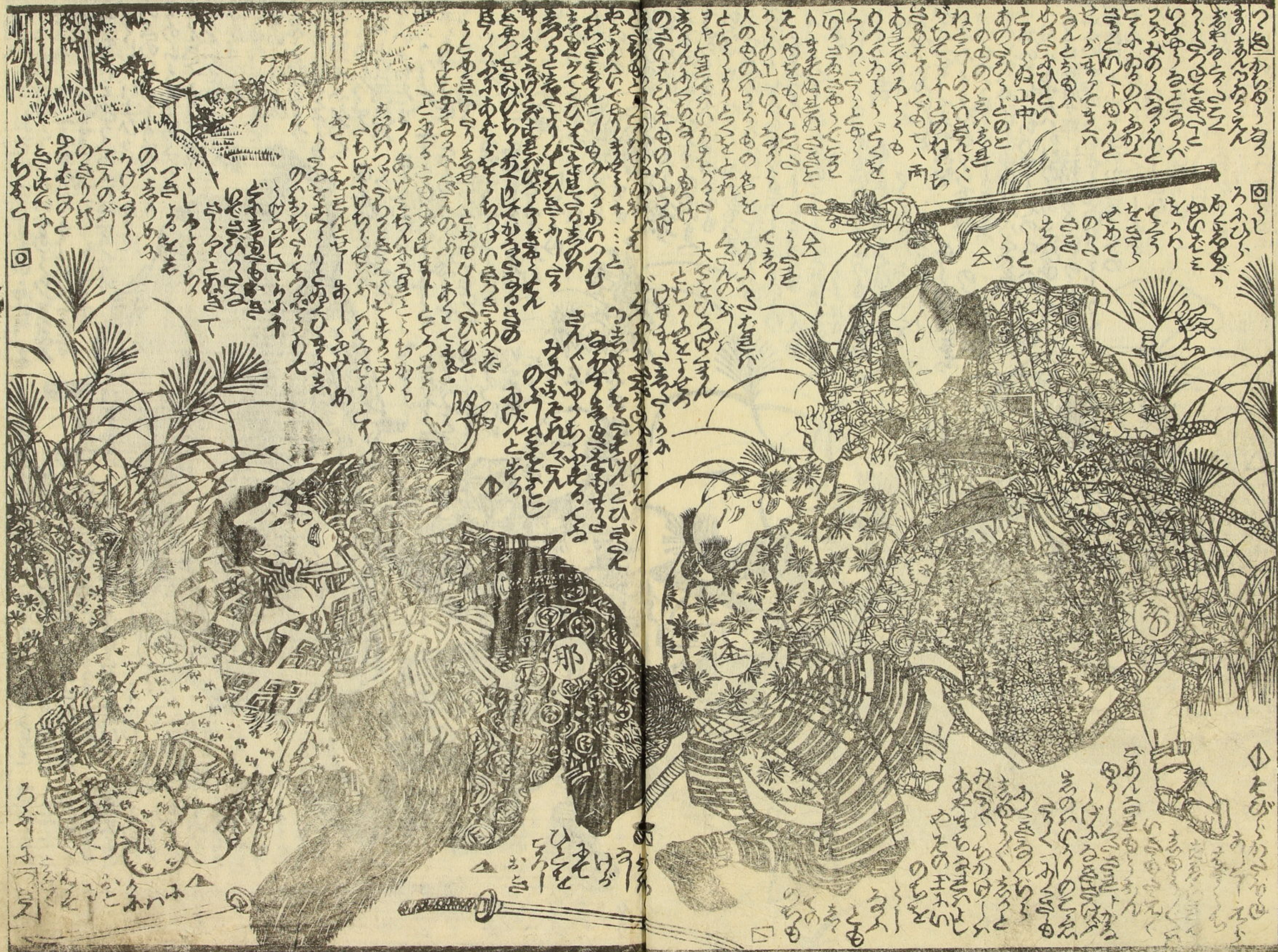
Vertical handwritten text on the right margin.

202  
 203  
 204  
 205  
 206  
 207  
 208  
 209  
 210  
 211  
 212  
 213  
 214  
 215  
 216  
 217  
 218  
 219  
 220  
 221  
 222  
 223  
 224  
 225  
 226  
 227  
 228  
 229  
 230  
 231  
 232  
 233  
 234  
 235  
 236  
 237  
 238  
 239  
 240  
 241  
 242  
 243  
 244  
 245  
 246  
 247  
 248  
 249  
 250



251  
 252  
 253  
 254  
 255  
 256  
 257  
 258  
 259  
 260  
 261  
 262  
 263  
 264  
 265  
 266  
 267  
 268  
 269  
 270  
 271  
 272  
 273  
 274  
 275  
 276  
 277  
 278  
 279  
 280  
 281  
 282  
 283  
 284  
 285  
 286  
 287  
 288  
 289  
 290  
 291  
 292  
 293  
 294  
 295  
 296  
 297  
 298  
 299  
 300



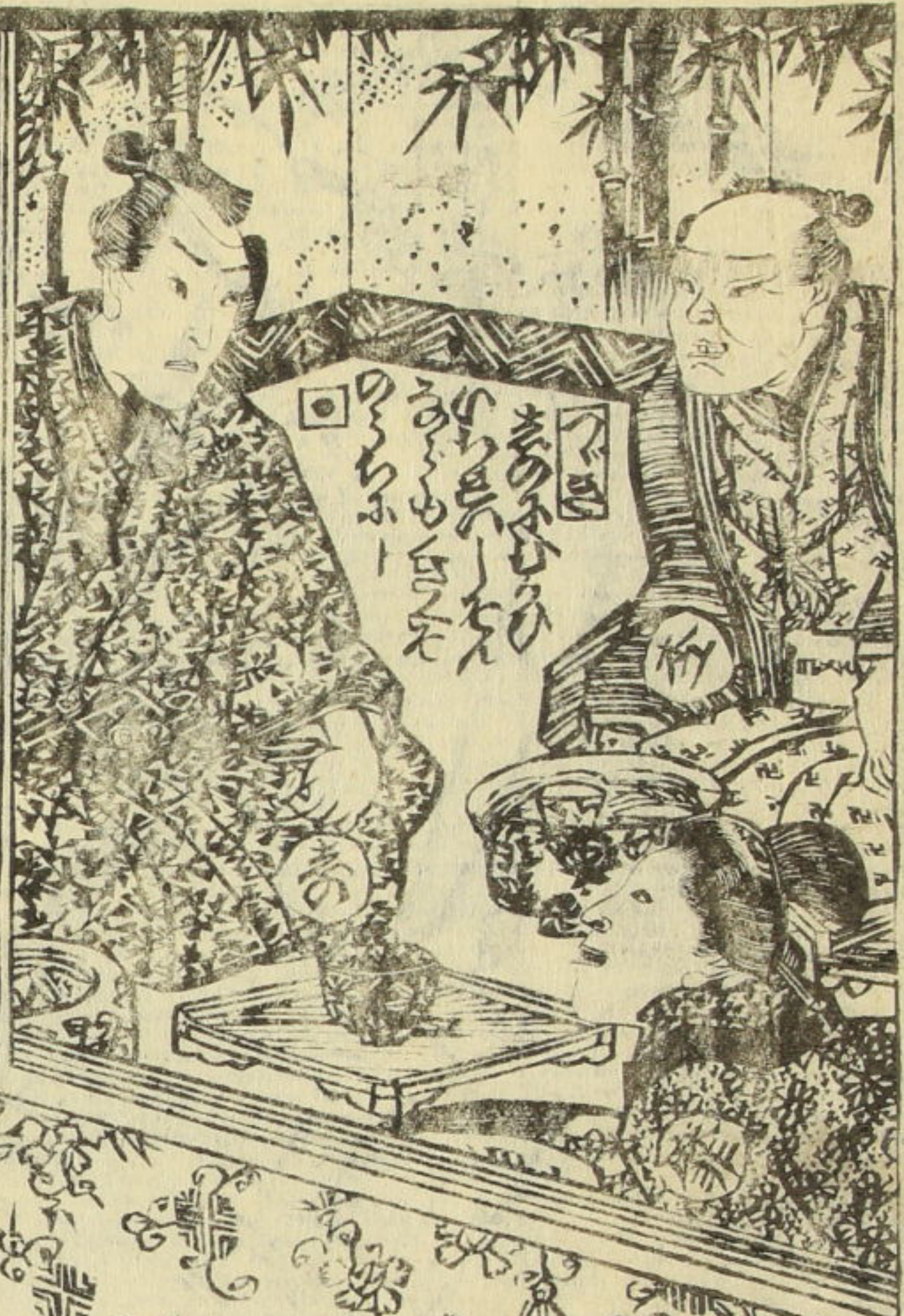




あまのり  
まはりの  
こころの  
こころの  
ひまわり  
あまのり  
まはりの  
こころの  
こころの  
ひまわり



あまのり  
まはりの  
こころの  
こころの  
ひまわり  
あまのり  
まはりの  
こころの  
こころの  
ひまわり



この巻の  
おとまり  
おとまり  
おとまり



おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり

おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり

おとまり

おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり

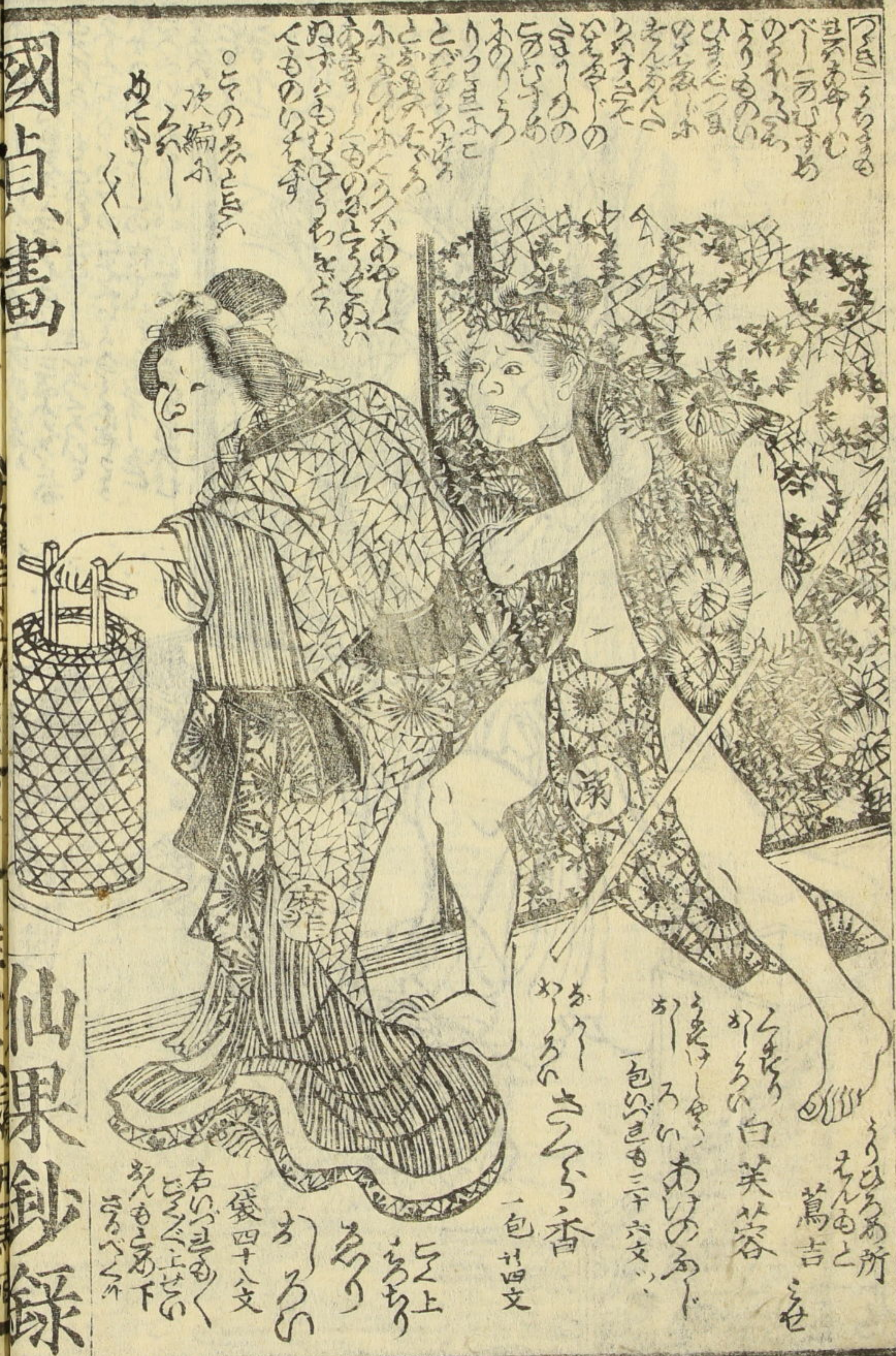
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり  
おとまり











國貞畫

大晦日曙草紙 七編 芳綱画

連理翅山雞奇縁 羅 芳綱画

八犬傳空の紙 廿四編 仙果録 三編 國貞画

松浦船水棹婦言 初二 仙果録 三 國芳画

御贄美少年始 八編 一九録 九編 國貞画

八重撫子東物語 初二 仙果録 三 國貞画

俠客傳仙摸略説 八編 西馬譯 九編 國輝画 十編 國網画

花養身梅雅物語 初二 西馬譯 三 國輝画

鳥巡浪間朝暴 五編 種員譯 六編 國輝画

春柳錦花四 五編 一九録 六尾 芳綱画

鹽屋古今草紙合 九編 仙果作 十編 國輝画

錦繪問屋蔦屋吉藏板 東都南傳馬町丁目

嘉永六癸丑新春新鑄目錄



仙果錄

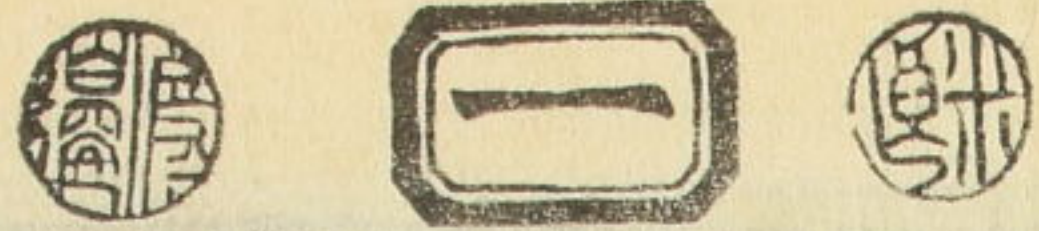
九六編上

什題曲及國史



雪梅芳譯  
 卷六編上  
 仙果録  
 負画紅  
 英堂梓

五高車



童子云ハ大傳の原本を讀み本工作の非命の死ハ許多鳥獸之類に旧惡ふ因ふ  
 前宵の夢も著しく彼殺生の報といふ事何とて又善と勸ゆる評語あり奈四郎も  
 亦本工作の友なり共又の備とあり其の積る現惡の罰ハ  
 天誅を俟たずのうらみ多し年猶報の本工作の公平受て奈四郎の心  
 まるごとく天道は是非をわきまをたてて後かめりし例なきのみなるを  
 口をせし下れはこそその事とあらむ丹波子作が然るべし  
 三原の浮浪も草造紙が作れり石ふら矢の念かといふ當りなれば年  
 開板唯の事とも拙作故賣賞ありしやここが惡いといふ評さる鳴乎停る哉  
 曲事翁島末の錯悞われ必人論弁す彼奈四郎の死して後四文の花のたてもなれ  
 と空作の位牌の安房の國主の焼香を賜て同日論なきや奈四郎が殺生の報も自然  
 小首と胸分ちしちた籠りし語の脱し龍馬の蹉跎勸懲の道ありしと論せ  
 童子も合點く去ぬ扱も名作感心轉信する曆門松の雪と研み河く犬の草席  
 筆始ふ先袋の足跡の梅芳南枝のみる傳馬町めぐる贈る廿六編原本  
 あく七十回の二酌を鈔と

癸丑新春

笠亭仙果自序



六の五



泡雪奈四郎秋實

甘濃布十郎照文

犬須賀篠見成孝

六  
五  
六



里見五君磨路姫

犬山道薛忠貞

豊後国丸

六  
五  
六



Wohu

III



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, arranged in vertical columns across the top of the left page. The text appears to be a dialogue or narrative related to the scene below.

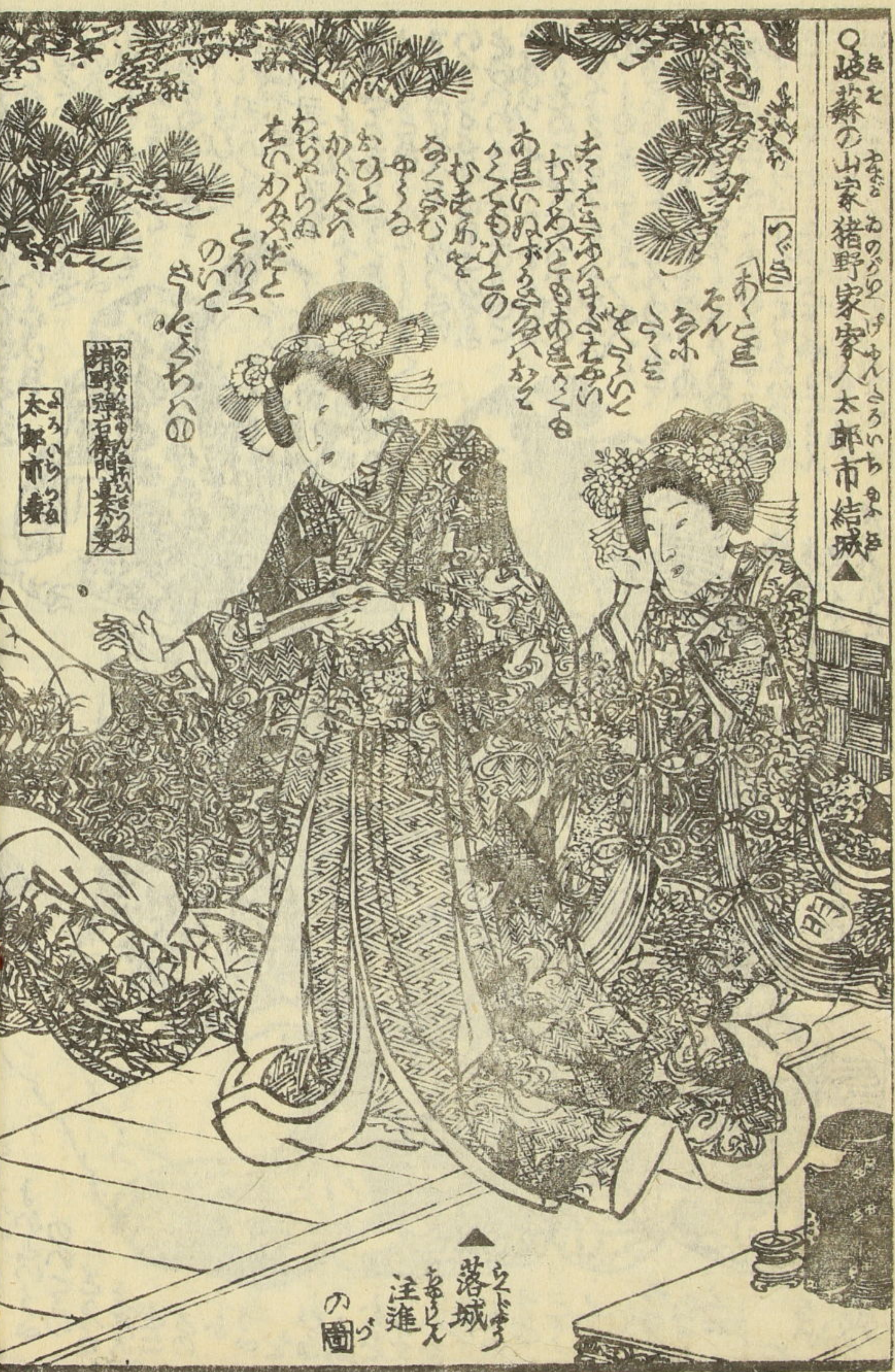
Large blocks of handwritten Japanese text in kuzushiji script, positioned around the central illustration. The text is arranged in vertical columns, following the contours of the figures and the scene.

Small handwritten Japanese text in kuzushiji script at the bottom of the pages, likely serving as a caption or a concluding note for the illustration.



Extensive vertical Japanese calligraphy in the upper left section of the page, including the name of the publisher, Debesawa Munro.

大坂市 豊科太郎市



大坂市 山家猪野家主人 大坂市 結城

落城 注進 の 圖

1164 丁

五

1165 丁

五







大のせよ

上



Handwritten text in the upper right section, including a vertical title and several lines of cursive script.



Handwritten text in the upper left section, including a vertical title and several lines of cursive script.

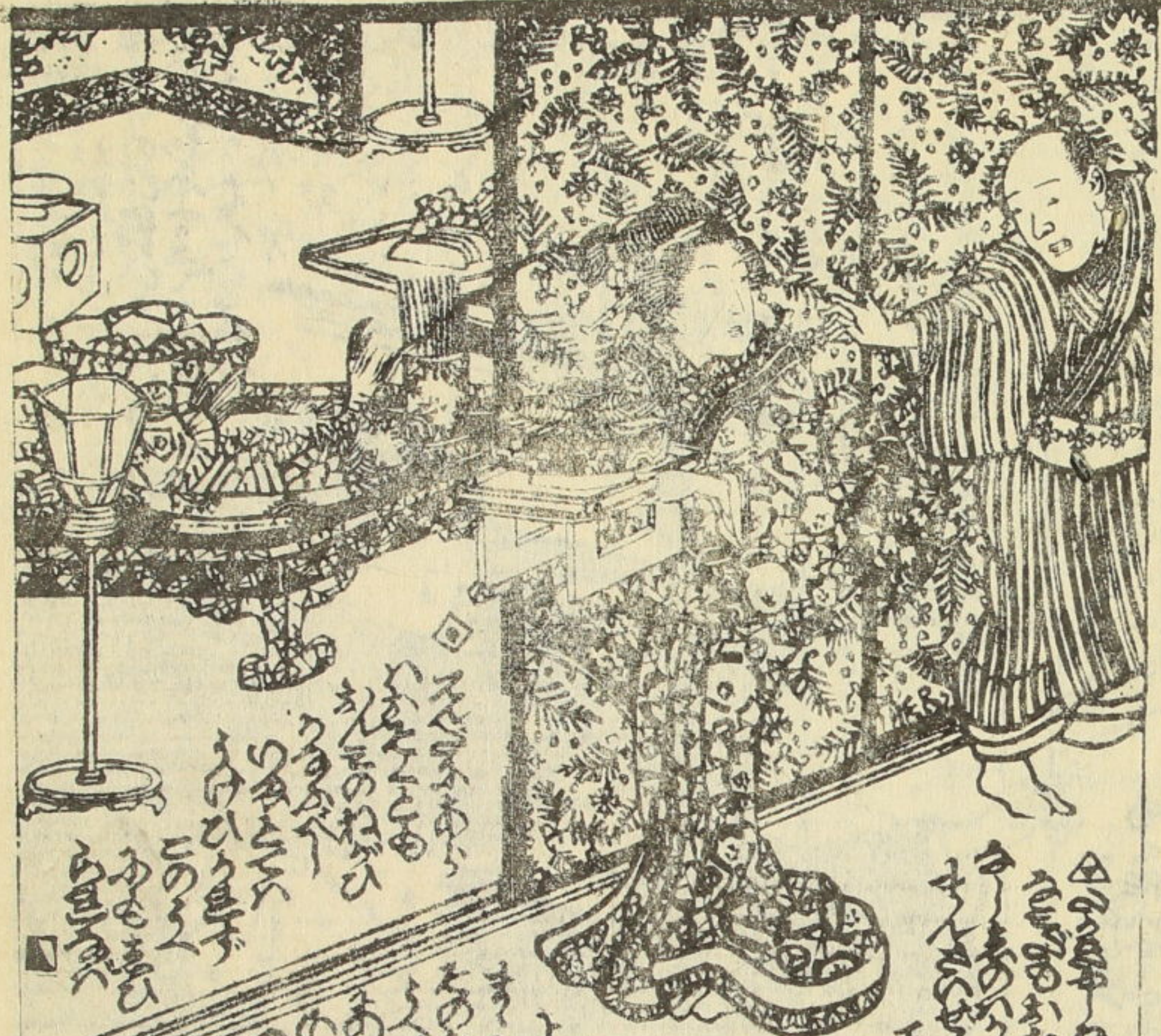


Handwritten text in the lower right section, including a vertical title and several lines of cursive script.

Handwritten text in the upper left section of the lower page, including a vertical title and several lines of cursive script.



Handwritten text in the lower left section, including a vertical title and several lines of cursive script.



あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ



あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

あゝおれ  
うわあ  
おれ  
あゝおれ  
うわあ  
おれ

作手... 井... 井...

井... 井... 井...

井... 井... 井...

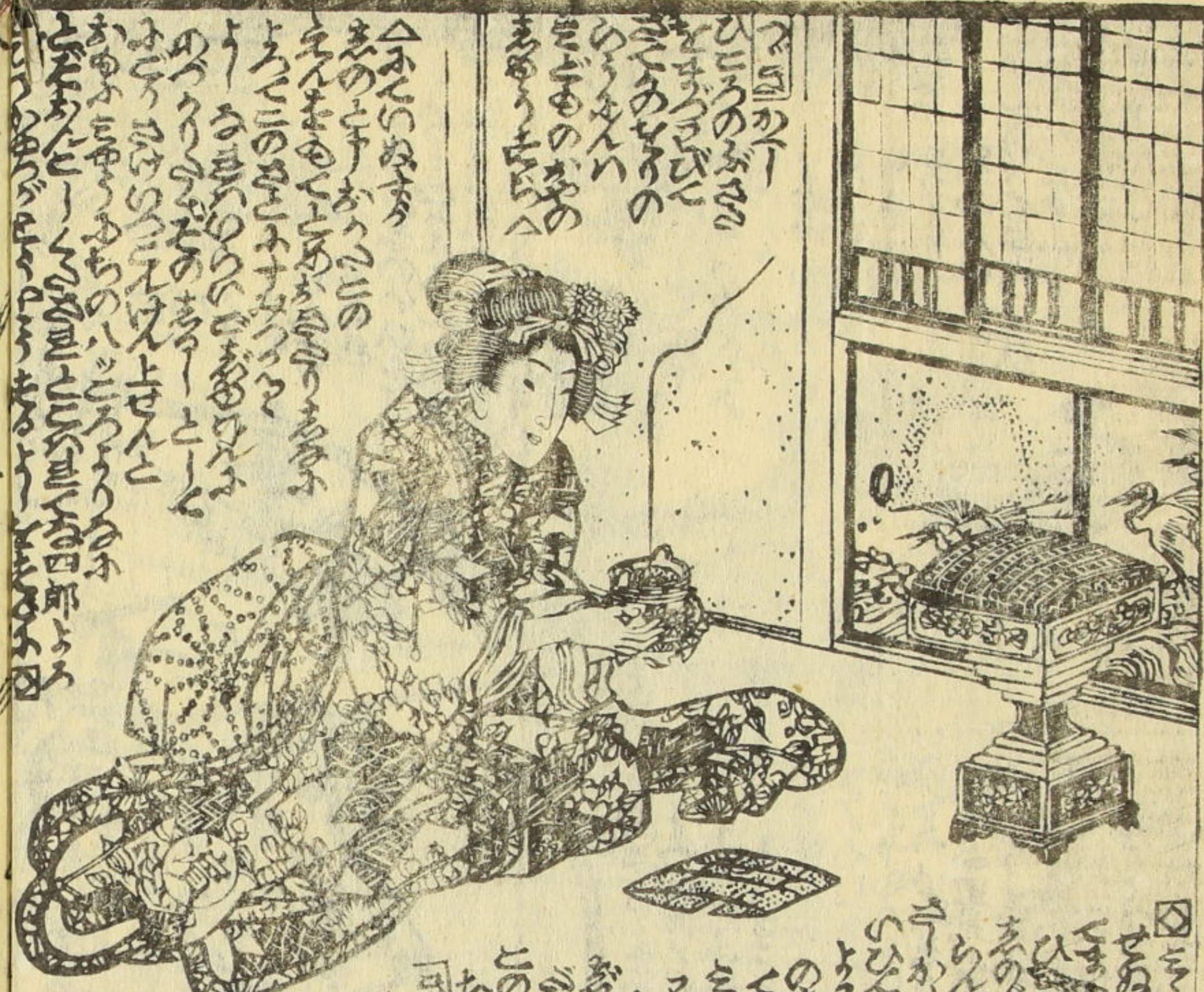
井... 井... 井...

井... 井... 井...

井... 井... 井...

井... 井... 井...





△ふくのぬす  
あとのすすかんの  
まんまゑとあまの  
よしのふくねつ  
よるまのりの  
のりるまのりの  
このりるまのりの  
あまのりるまのりの  
このりるまのりの  
あまのりるまのりの  
このりるまのりの  
あまのりるまのりの

### 録果仙画貞國

## 家實母散

此方實母散、一服、中橋、南傳馬町二丁目東側、千葉堂孝輔製、向方、...

中橋

## 甘ききのゆき

御用藥所 信州上田東山堂製

甘ききのゆき  
一匙  
九甲州

## 大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚巻 府郷御江戸繪圖 同斷 六枚巻

はねの取次所 繪草紙問屋 葛屋吉藏



圖貞畫

八犬傳大洲紙

葛吉板

此六編下





三  
高  
岸

大村

井

の

仙果

園

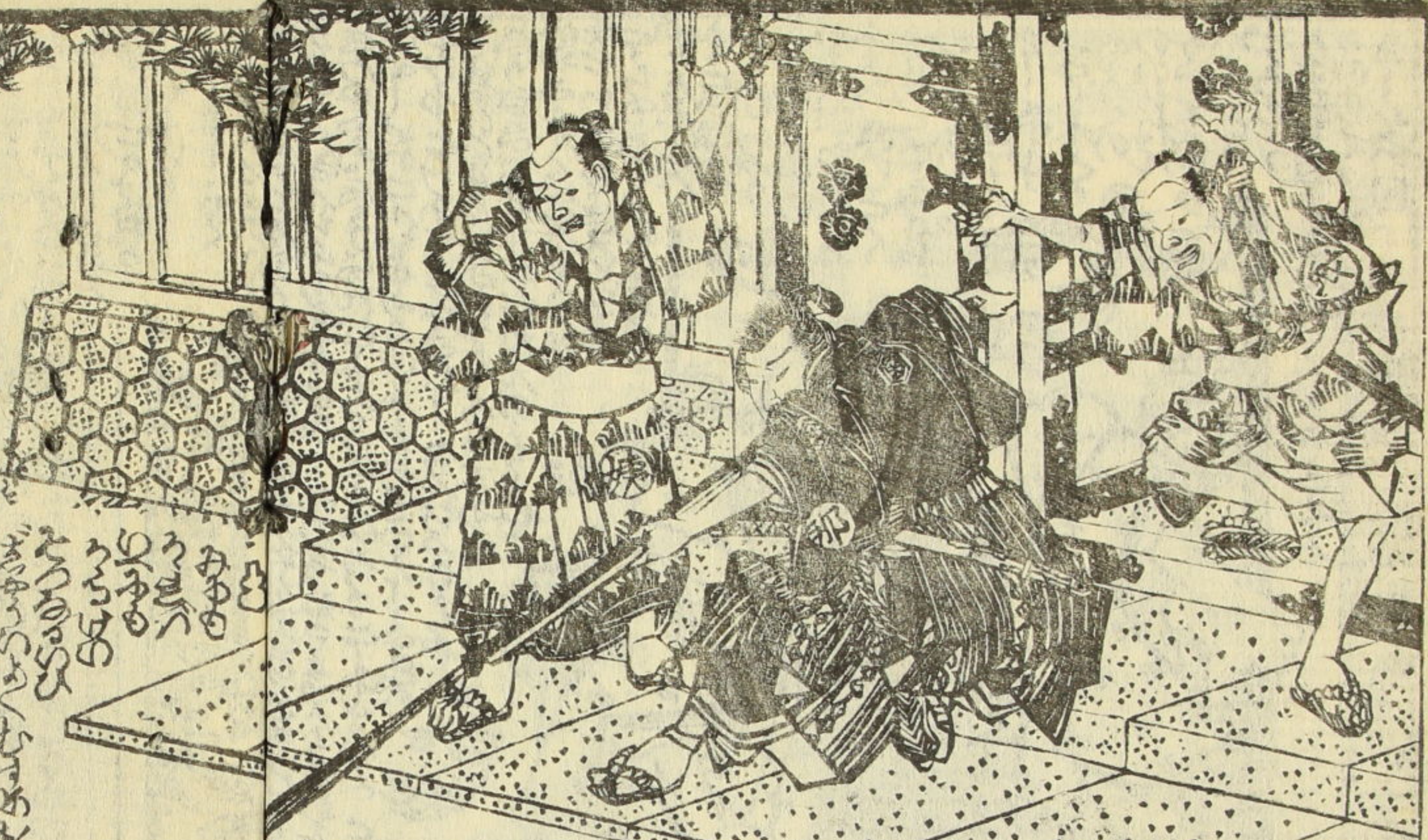
お英



大の世

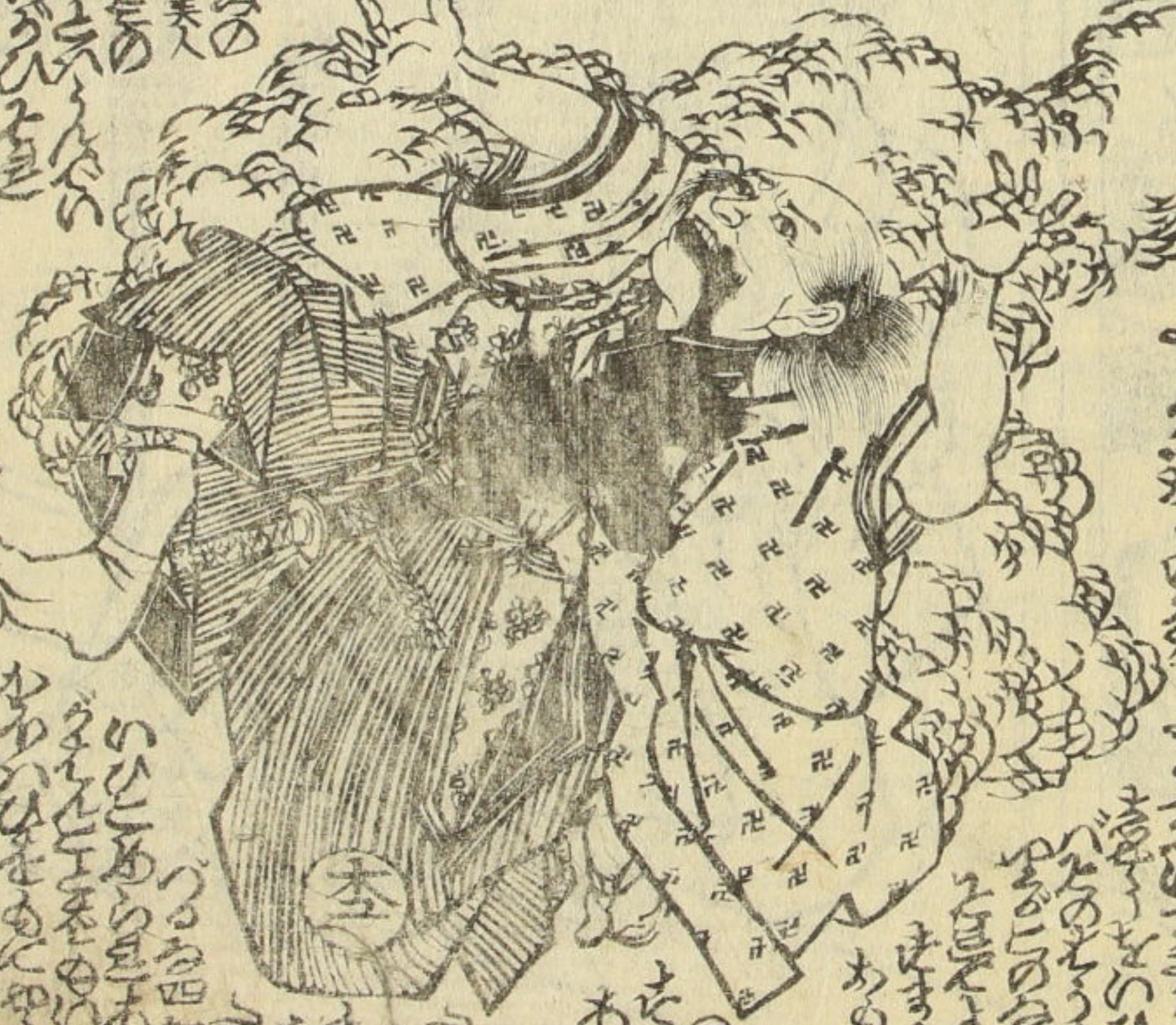






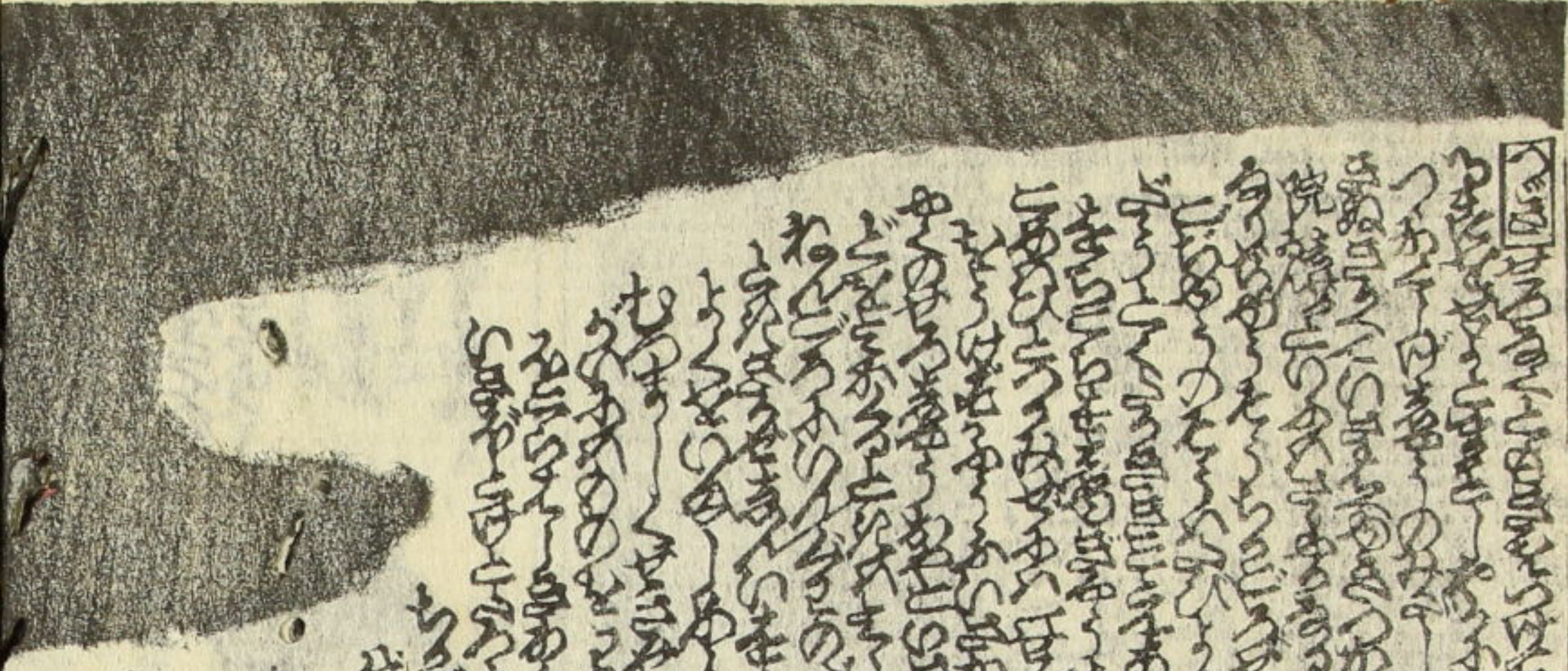
Handwritten text in a cursive script, likely a translation or commentary on the scene above. The text is arranged in several columns, following the layout of the illustration.

Handwritten text in a cursive script, continuing the commentary or translation from the scene above. It is written in a dense, flowing hand across the bottom half of the page.

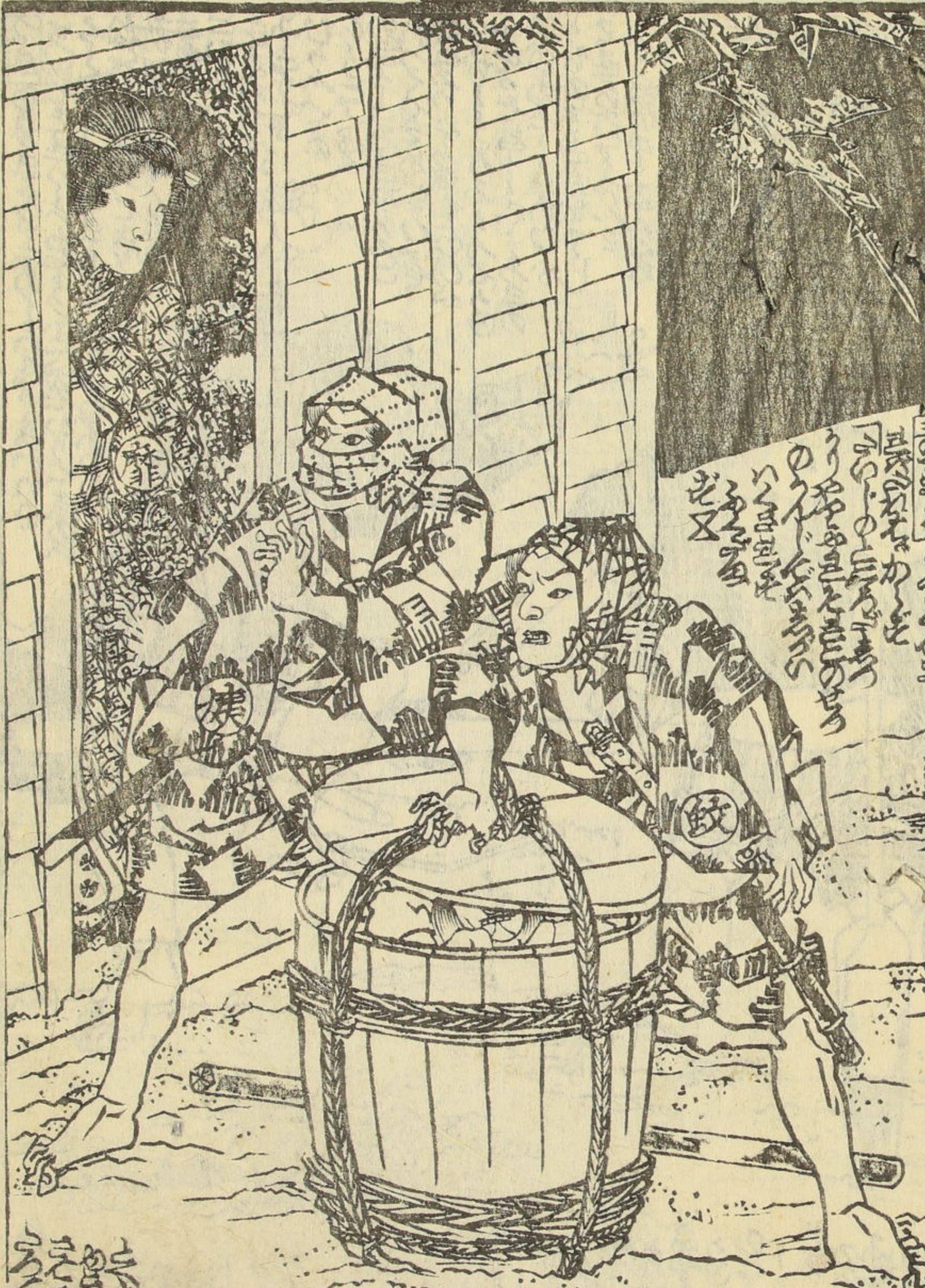


Handwritten text in a cursive script, positioned to the left of the seated figure illustration. It appears to be a continuation of the text from the top of the page.





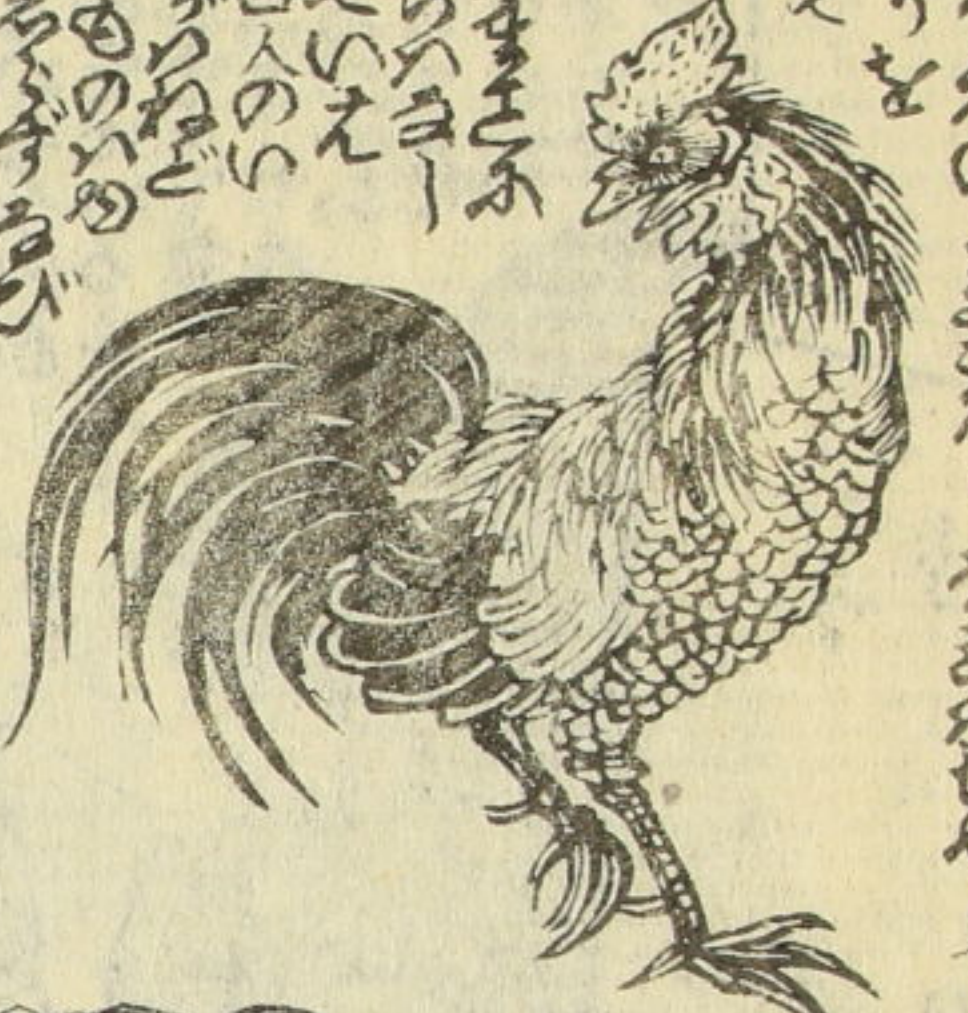
Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of a story or dialogue, covering the right page of the manuscript.



Handwritten text at the bottom of the illustration, possibly a caption or a continuation of the text from the adjacent page.



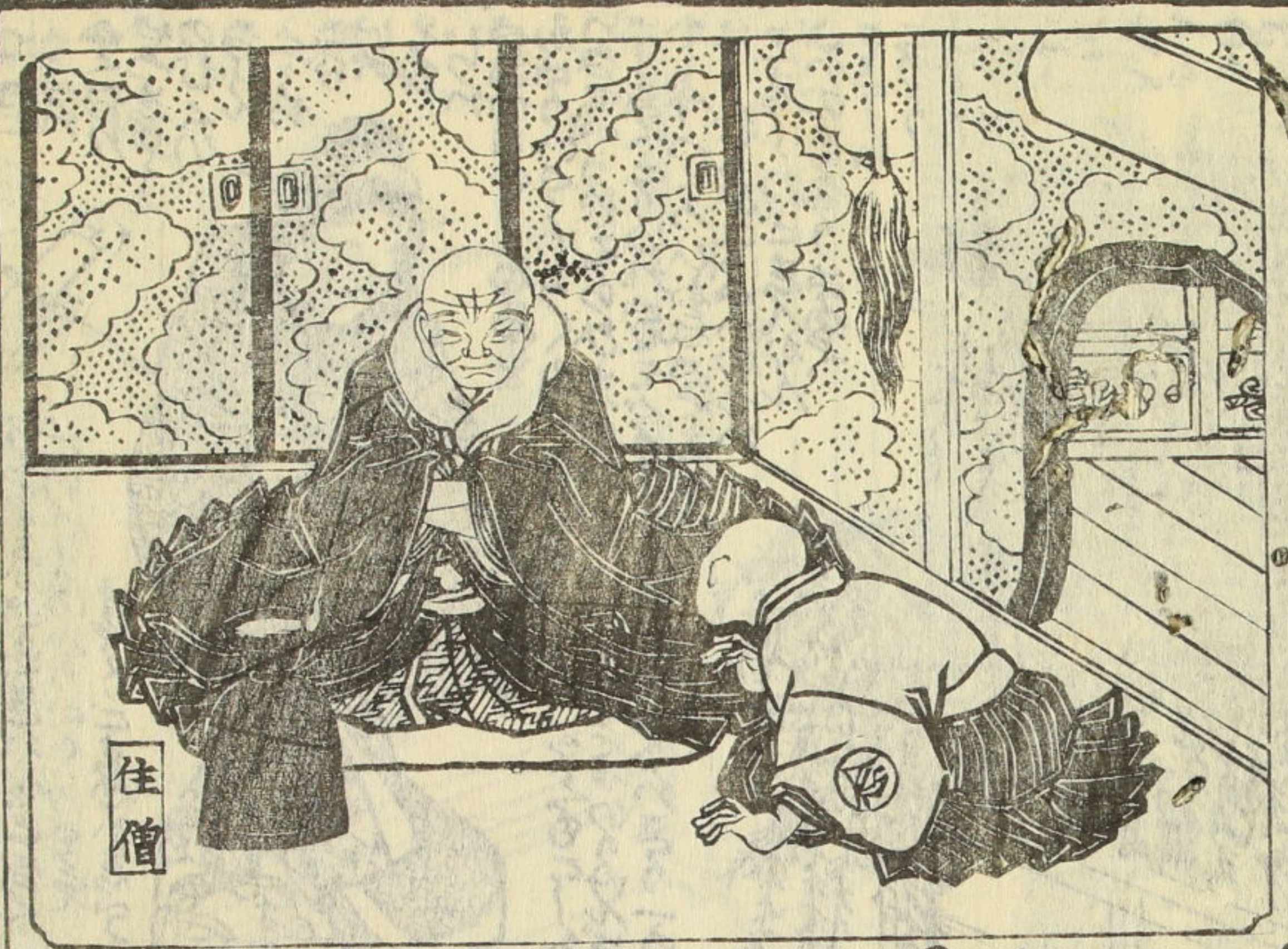
天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり  
 天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり  
 天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり



天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり  
 天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり



天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり



住僧

天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり

天のつとめ  
 人をいへ  
 ひろののり



七十七

十七

七十七  
七十七  
七十七

七十七

七十七





# 國貞仙果錄

つぎあまりのひやく  
 元治のころのりたる  
 まはるのころめ  
 こころのあまのりたる  
 つぎあまりのひやく  
 元治のころのりたる  
 まはるのころめ  
 こころのあまのりたる  
 つぎあまりのひやく  
 元治のころのりたる  
 まはるのころめ  
 こころのあまのりたる

一自芙蓉 右二巻  
 一巻  
 三六文



一巻  
 一巻  
 一袋四十八文

連理山雞奇縁 三編 芳編画

大晦時暗草紙 九編 芳編画

八犬傳大の紙 三編 仙果録 豊国画 國貞画

御警美少筆始 八編 一九録 國編画

俠客傳仙摸略説 九編 西馬譯 國編画

鳥巡浪間朝祭 五編 種夏譯 國輝画

鹽屋古今草紙各 九編 仙果作 十編 國輝画

松浦船水棹婦言 初 仙果録 二 國芳画

八重撫子鬼物語 初 仙果録 三 國貞画

花養登梅雅物語 初 西馬譯 三 國輝画

春柳錦花皿 五編 一九録 大尾 芳編画

東都南傳馬町二丁目  
 地本問屋為屋吉藏板  
 錦繪

嘉永六癸丑新春新編目録

松氣改

